

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

学 部

畿央大学は生命の尊厳を基盤に、豊かな人間性と徳性を培い、専門的知識と的確な技術をもって地域社会及び国際社会に貢献する人材を養成することを目標とする。そこで、畿央大学での学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。

1. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観をもち、幅広く豊かな教養を備え、社会で活動できる。
2. 人間を総合的に理解し、修得した専門的知識と技術をもって健康と教育に関する諸課題に適切に対応できる。
3. 地域の特性に主体的に対応し、地域の諸機関と連携・協力して地域の諸資源を活用できる。
4. 健康と教育に関する諸課題を分析評価し、問題解決を図ることができる。
5. 国際化に対応した視野をもって、健康問題・教育問題を科学的・創造的に研究できる。

大学院

畿央大学大学院では、「健康」もしくは「教育」を総合的に捉え、地域とともに現代的課題に包括的に取り組むために必要な科学を探究することを理念とする。この理念に基づいて、健康科学もしくは教育学の各分野における高度な知識、技術等を一体的に修得し、他の専門職や関係者と連携する能力を兼ね備えて、課題解決への指導的役割を果たすことができる能力を身につけ、所定の単位を修得し、基準を満たす修士論文もしくは博士論文を提出した者に学位を授与する。

専攻科

畿央大学助産学専攻科では、修了要件に必要な単位を修得し、以下のような能力を身につけた学生に修了証書を授与する。

1. 人間性豊かで対象を尊重できる。
2. 母子をとりまく社会のニーズや、産科医療の高度化並びに助産ケアの多様性に対応できる。
3. 女性のライフスタイルにおけるリプロダクティブヘルスに関する課題を捉えることができる。
4. 保健・医療・福祉チームとの連携を図り、地域社会に貢献できる。
5. 助産師としてのアイデンティティを形成することができる。